

# 2021年度 国際教養学部 教職課程ガイダンス

## 説明事項

教職課程の概要

国際教養学部での注意事項

2021年3月

# 教員免許状の種類

---

■ 本学部で取得できる教育職員免許は以下の通りです。

免許教科	中学校教諭1種免許状	英語
	高等学校教諭1種免許状	英語

■ 基礎資格：学士の学位を有すること

# 免許取得に必要な科目の分類

- 免許に必要な科目は、大きく分けて以下の4つのグループ。
- 一部の科目は教育学部の設置科目を履修する必要がある。

教科及び教科の  
指導法  
に関する科目

教科の専門性を高  
めるための科目

**所属学部※**

(所属学部の専門科目)  
※各教科の指導法は教職  
課程科目

教育の  
基礎的理解  
に関する科目等

教師になるための  
基礎を学ぶ科目

**教職課程**

(特定の学科専修では代替可能な科目有り)

教育実践  
に関する科目

実践的な科目

66条の6  
に定める科目

基礎的な科目  
(憲法、体育、情報、  
外国語の4領域)

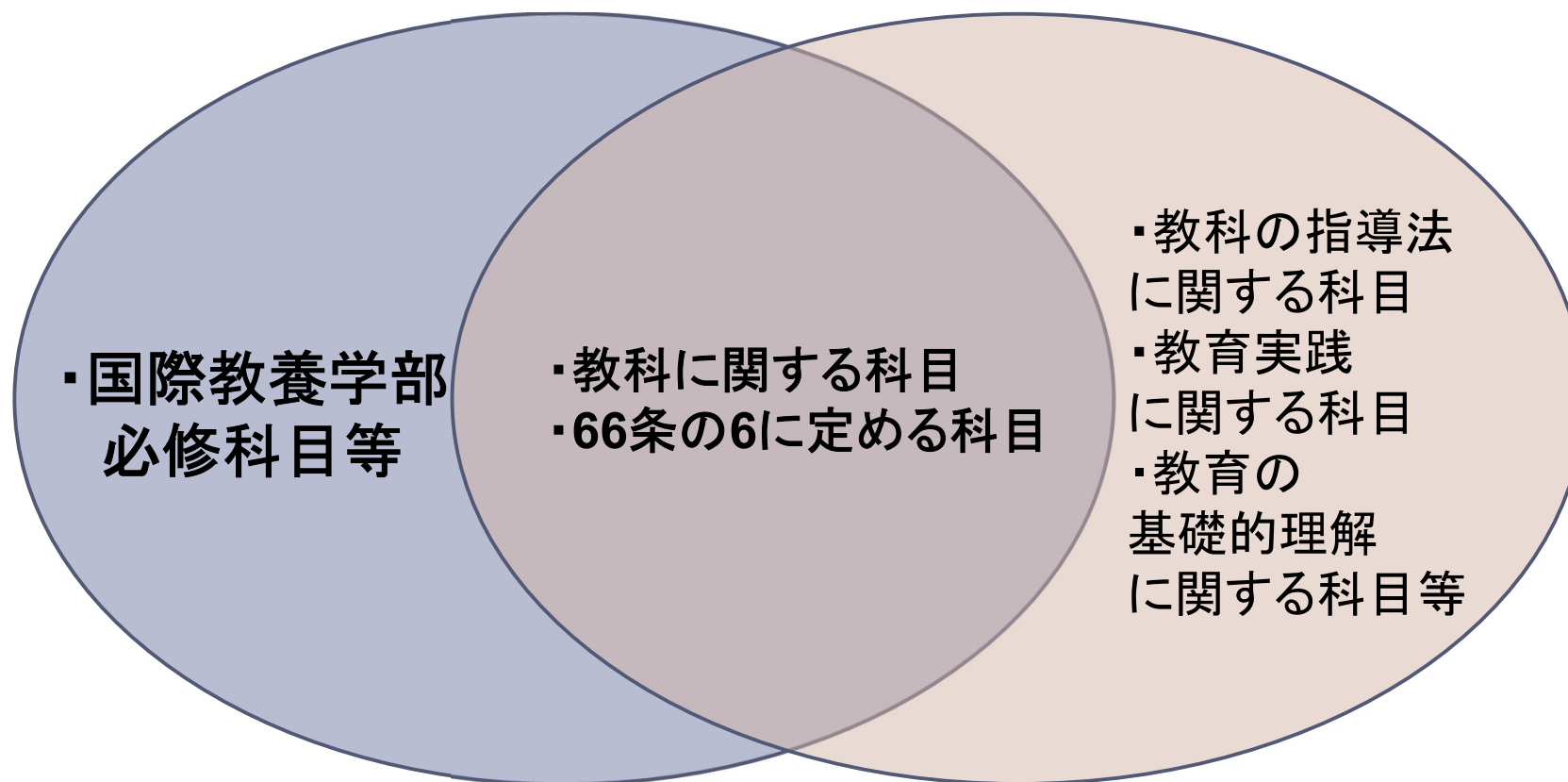
**所属学部**

(所属学部の共通科目等)

# 卒業・免許取得に必要な単位数

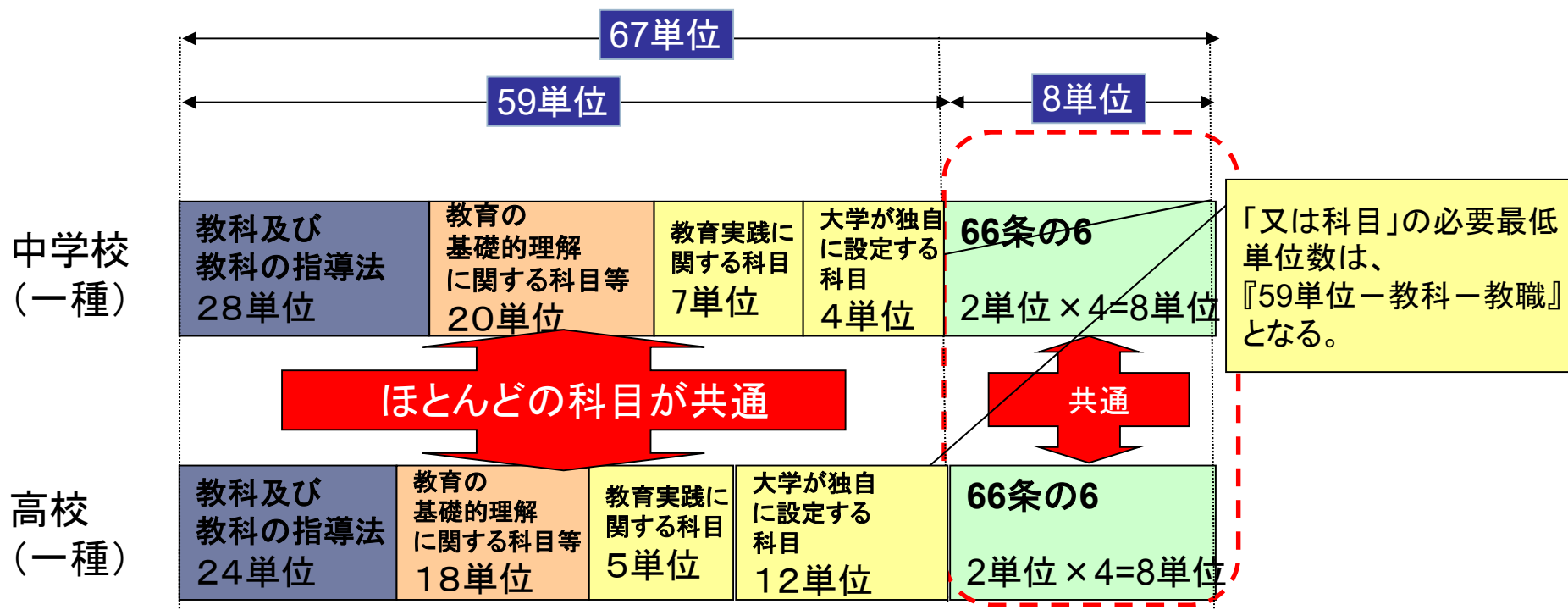
卒業に必要な単位  
=124単位

免許取得に必要な単位  
=67単位



# 免許取得に必要な単位数

- 中・高の一種免許に必要な単位数は、それぞれ67単位。
- 59単位の内訳は、学校種・教科により異なる。
- 中高のほとんどの科目は共通に使うことが可能。



※記載の単位数は法令上の最低単位数であり、学科専修により単位数は異なります。

# 教育の基礎的理解に関する科目等（1年生から履修可能科目）

科目名	履修方法	単位
教職概論	必修	2 単位
教育基礎総論 1	必修	2 単位
教育制度総論	必修	2 単位
教育心理学	必修	2 単位
特別支援教育	必修	1 単位
道德教育論	必修	2 単位
総合的な学習・探究論	必修	1 単位
特別活動論	必修	1 単位
生徒指導・進路指導論	必修	2 単位
生徒理解と教育相談	必修	2 単位
合計		20単位

## 教科に関する科目（1年生から履修可能科目）

---

科目区分	科目コード	科目名	履修方法	単位
英語学	CO202	Introduction to English Linguistics	必修	2単位
	CO201	Introduction to Language Studies	選択	2単位
英語文学	EX202	Introduction to Literature	必修	2単位
英語コミュニケーション	GE162~165	English Plus*英語I・II免除者のみ	必修	2単位
異文化理解	GE171	Introduction to Cross-cultural and International Education	必修	1単位
	CU210	Introduction to Irish Studies	選択	2単位
	CU207	Introduction to Cultural Studies	選択	2単位

## 66条6に定める科目

---

科目群	
日本国憲法	The Constitution of Japan (国際教養学部設置科目・3セメスターから履修可能) (英語免除の人は2セメスターから履修可能)
体育(実技)	グローバルエデュケーションセンター設置科目を履修 1単位科目なので2科目履修する必要あり。
外国語コミュニケーション	英語Ⅱ(Tutorial English)履修で可。 英語Ⅰ・Ⅱ免除者は最初の学期に限り申請により英語Ⅱ の履修が可能 英語Ⅲ(Writing)も履修可能。レベル2以下であれば必修 単位を満たせる。
情報機器の操作	グローバルエデュケーションセンター設置科目を履修



# 履修にあたっての注意事項

---

## 1、登録制限単位数

- 卒業に必要な単位として登録できる単位数は1学期20単位(1年次は21単位)
- 発展科目(教職に関する科目・教科又は教職に関する科目)は上記の範囲外で登録可能
  - 但し、教育学部設置の教職課程科目は年間20単位が上限という制限あり。

## 2、介護体験実習講義は春からの通年科目のみ

## 3、教育実習演習は原則として春学期のみ、教職実践演習は秋学期のみ

- 教職実践演習を履修するためには、教育実習演習の単位を取得済み、もしくは履修中であることが必要です。
- また、教職実践演習は、春学期に修得した教育実習演習もしくは夏秋期に履修している教育実習
- 演習と同一クラスの教職実践演習が自動登録されます。

# 履修にあたっての注意事項

---

## 4、前提条件

### ■ 英語科教育法

WeTEC600点以上   もしくは TOEIC555点以上   もしくは英語I/II免除者

### ■ 介護等体験実習講義（3年次から履修可能だが、通年科目のため3年春に留学中の場合は4年次に履修）

1. 体験実施前年度に介護等体験事前登録
2. 体験実施前年度に介護等体験納入手続を完了
3. 介護等体験実施前年度までに「教職概論」の単位を修得 \*教育心理学も修得済みが良い

### ■ 教育実習演習

1. 教育実習ガイダンスへの出席（2年秋から留学する場合は1年生終了時の3月に出席）
2. 教育実習事前登録(MyWasedaにて、実習実施前年度に登録)
3. 実習実施年度中に免許取得に必要な科目を修得済みまたは修得見込であること
4. 実習実施年度に4年生以上で実習前年度までに卒業必要単位84単位を取得していること
5. 実習前年度までに前提科目の単位を修得済みであること

### ■ 教職実践演習

1. 教育実習演習の単位を取得済みもしくは履修中であること
2. 教職履修カルテを作成していること

# 履修にあたっての注意事項

---

## 5、その他

- 中学、高校の両方の免許を取得することを推奨。  
(教員採用の前提になっている学校や、教育委員会が多い)
- 教育学部設置の教職課程科目「教職に関する科目(必修科目および選択科目)」を履修する場合は、**1単位につき、1000円**の聴講料が必要。  
またいくつかの科目では実験実習料が必要。
- 教職課程の科目の履修を開始したら、「履修カルテ」を作成すること  
教職実践演習の履修に必要

履修カルテ: <http://www.waseda.jp/fedu/tep/students/karte>

## 留学などに伴う注意事項（2年秋から留学の場合）

---

- 介護等体験と教育実習を4年次に並行して行う必要がある。  
両科目は通年科目（教育実習は教育実習演習と教職実践演習の2つでセット）  
のため、9月入学者は留学の有無に関わらず半年間の延長が必要となる
- 教育実習ガイダンスに1年生の3月に参加すること。
- 留学中に教育実習の内諾活動を行う可能性もある。
- 介護等体験や教育実習は前提条件があるので、早めから卒業までの計画を立て留学前には取り終えるよう計画すること。

## 66条の6に定める科目 外国語コミュニケーション

---

- 英語I／IIが必修となった場合
  - 英語II (Tutorial English) の履修で2単位取得
- 英語IIIのレベルが2以下
  - 英語III (Academic Writing) の履修で2単位取得
- 英語I／IIが免除かつ英語IIIのレベルが3以上の場合
  - 必修科目の履修では単位取得不可
  - 今学期にTutorial Englishの履修が必要

**Tutorial English** 履修希望の場合は科目登録  
で登録をしてください。

**1, 2**セメスター時は上級・上級プラスのクラスであ  
れば聴講料がかかりません。

# 最後に

---

- 教職免許は、安易には取得できない。

過年度免許取得者数

2014年15人 2015年11人 2016年11人 2017年7人 2018年  
6人、2019年7人、2020年8人（内4年間での取得者7人）

- 卒業に必要な単位＋教職に必要な単位取得で、試験期間・レポート提出期間等は大変いそがしくなる。
- 教育実習先では、本気で教員になる人に来て欲しいと考えているため、資格取得だけを考えた人は絶対に歓迎されない。内諾を得るまでには、教員になりたいかしっかりと自答してほしい。
- 本資料・教職課程履修の手引き(教育学部発行・SILS発行)を熟読し、不明点があれば国際教養学部事務所(sils-kyoshoku@list.waseda.jp)にお問い合わせください。
- アドバイザーによる個別相談や面接指導を行っている「教員就職指導室」を活用すること。

場所14号館202教室、Tel 03-3203-0921

---